

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	47_沖縄県
市区町村名	
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
47000沖縄県	②学校と地域の課題	04 高校・特別支援学校における地域連携の強化	生徒の多様化に対応し、社会に開かれた教育課程を実現するために、特色ある教育活動の創意工夫や、地域とともにある学校づくり、地域社会・家庭と連携した教育活動の展開が課題となっている。	本県では県立高校・特別支援学校においてはOS導入がされていないが、導入に向け研究校を指定し、モデル校として調査・研究に取り組み、他校に良い波及効果を与える活動を展開する。	R6実績なし	地域コーディネーターを活用した、産官学・地域と連携した取り組みを実施。	地域コーディネーターが、産官学・地域と連携した学校活動。	0	件	5	6	【取組内容】 ○「やんばるに伝わる川遊び」 ○「里山における体験学習 やんばるのチョウを知ろう」 ○「宜名真フヌイユまつり 地域のボランティア協力」 ○「奥川・チヌフ川の水生生物実態調査 奥小学校児童と野外調査」 ○「生き物博物館の見学対応」 ○「世界事前遺産地域やんばるの方類の生息状況に関する共同調査 サイエンス部による地域の方との連携」 【成果】 ○地域学校協働活動推進員の配置により、学校と地域等が連携した学校活動が促進され、探究的な学びに繋げることができた。 ○今まで教員が担ってきた地域との連絡調整を、地域学校協働活動推進員が行うことにより、教員の負担軽減に繋がりがつある。 【課題】 ○令和8年度からスタートする学校運営協議会の効果的な実施のために、地域資源を熟知した地域学校協働活動推進員が協議会に出席し、地域と学校のつなぎ役として中心的な役割を担うことが重要である。 ○地域学校協働活動推進員の資質向上のため、研修等の支援体制の充実が必要である。	https://www.pref.okinawa.lg.jp/kyoiku/shoraigakushu/1009501/1009502/1029224.html